

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	一般社団法人はやぶさ福祉会 いるかの教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 16日		～ 令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 16日		～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援開始前には必ず申し送りを行い、その日の流れや活動内容の確認、ねらいの共通理解を図っている。	・全職員が、活動内容やねらいを共有することで、統一した支援の提供ができるよう努めている。 ・専門職員が出動している時には、専門的な視点からの見立て等を伺うようにしている。	・支援終了後の振り返りや反省を充実させ、今後の取り組みや課題等の共有を職員間で図り、より良い支援へつなげていく。
2	・保護者の方からの悩みや困り事、相談の要望等に対して、迅速に対応し、面談等を行っている。	・まずは保護者の方の悩みや相談をたくさん聞き、思いを吐き出す場を設けている。 ・少しでも不安を軽減できるよう、保護者の方に寄り添った面談を行っている。 ・保護者の方の思いを伺った上で、当事業所で取り組んでいる支援や関わり方を伝えている。また、自宅で無理なく取り組めることを一緒に考え、提案している。	・引き続き、相談や悩みがある際には、状況に応じて面談等を設ける等、保護者の方や利用者様が困っていることを軽減できるよう迅速に対応していく。 ・適切な助言ができるよう、職員の専門性や知識を高めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・直接お会いすることが難しい保護者の方との連携が密に行えていない現状にある。	・保護者の方によって、仕事の都合上、送迎の時間帯にお会いすることが難しく、連携が取りにくい。 ・こちらから連絡を入れるが、返答が無いことがある。	・それぞれの保護者の方に合わせて、連携が図りやすい方法（タブレット端末、電話等）を見出し、対応を行っていく。 ・面談等の場を設け、密に連携を図る機会を作っていく。
2			
3			